

経営比較分析表（令和4年度決算）

神奈川県相模原市 橋本駅北口第1自動車駐車場

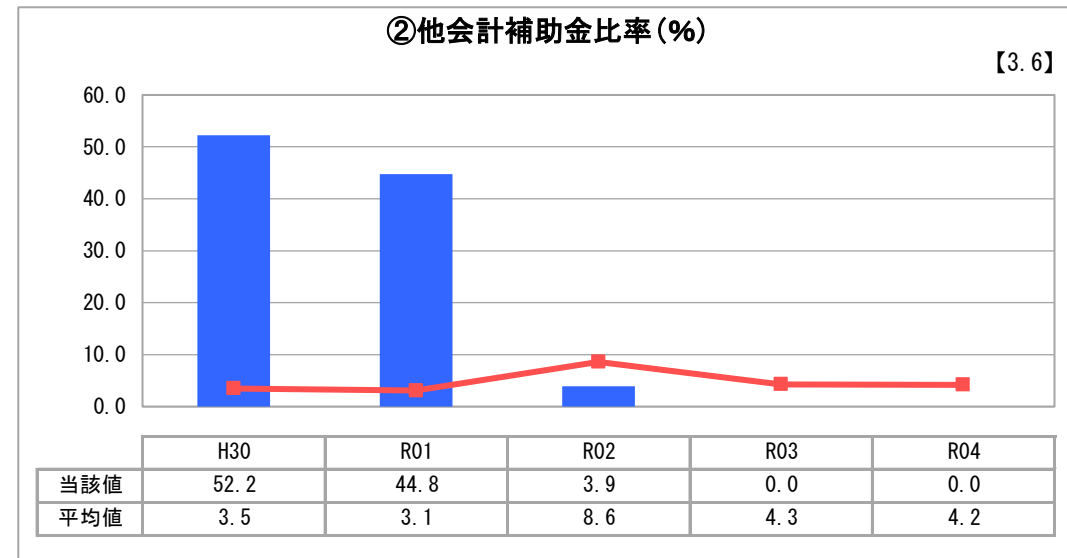
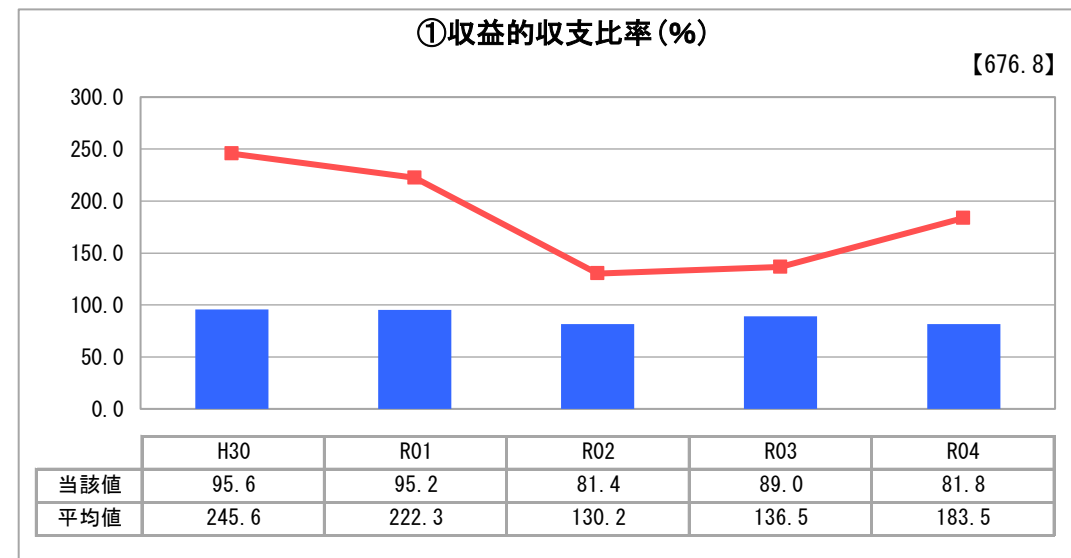
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A1B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	立体式	23	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
商業施設	無	28,612
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
747	300	代行制

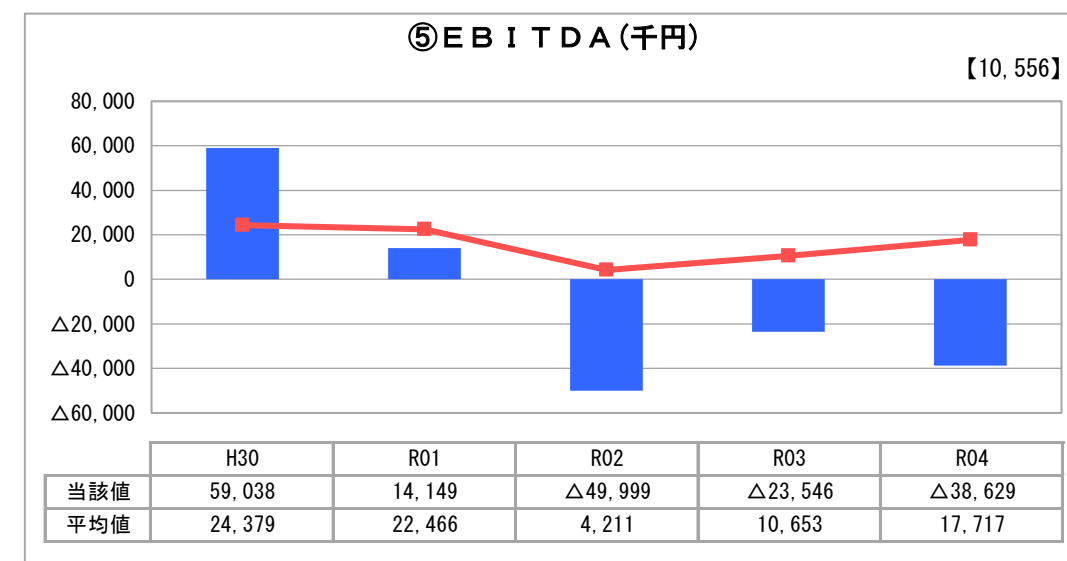
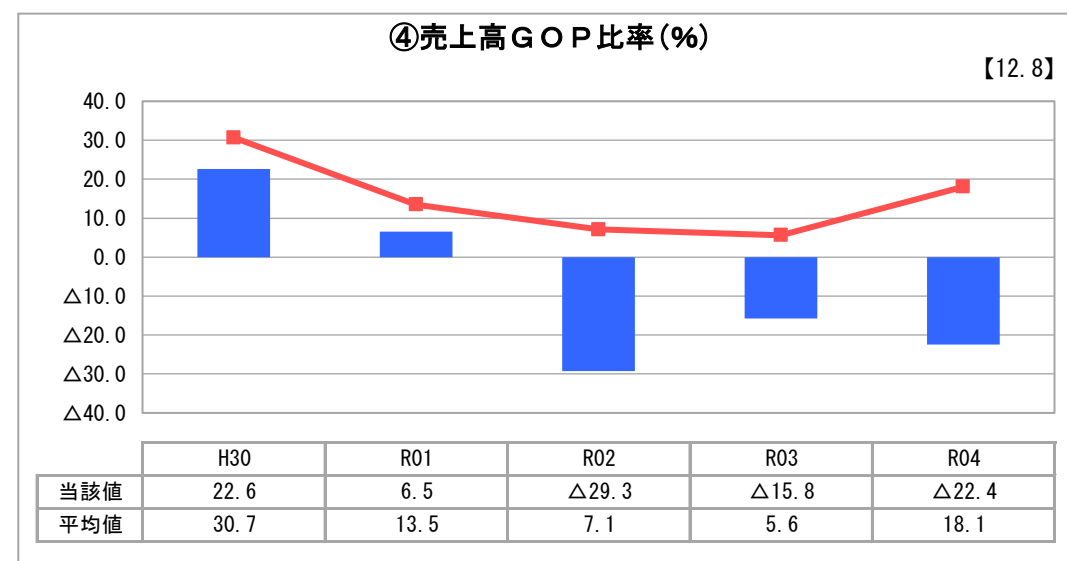
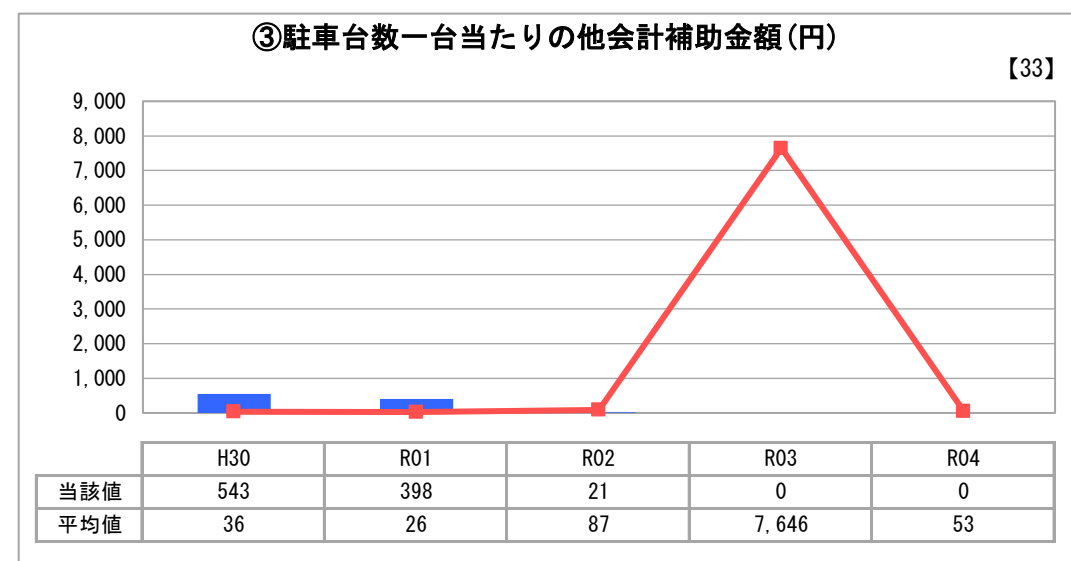
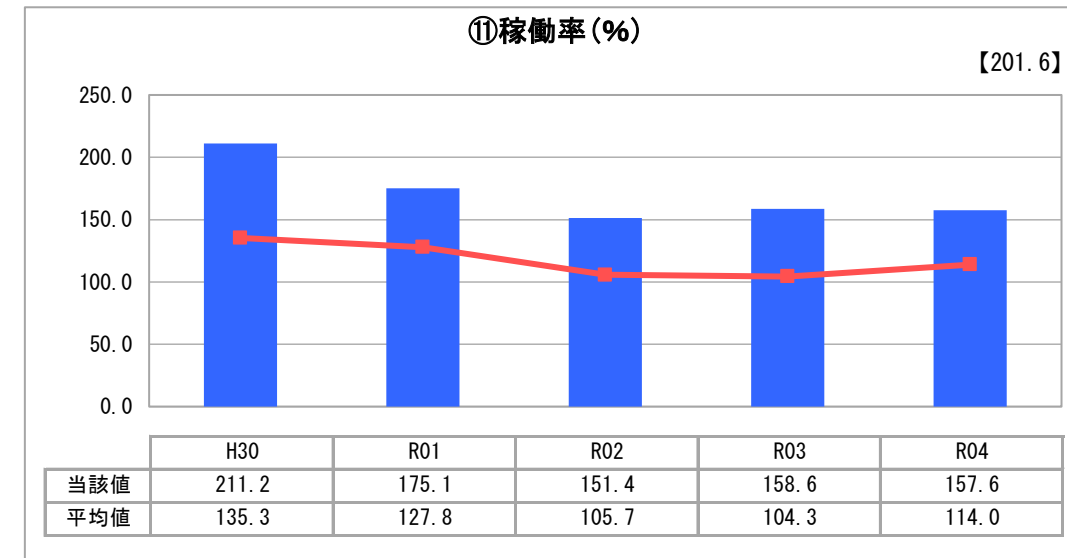
グラフ凡例

- 当該施設値（当該値）
- 類似施設平均値（平均値）
- 【】 令和4年度全国平均

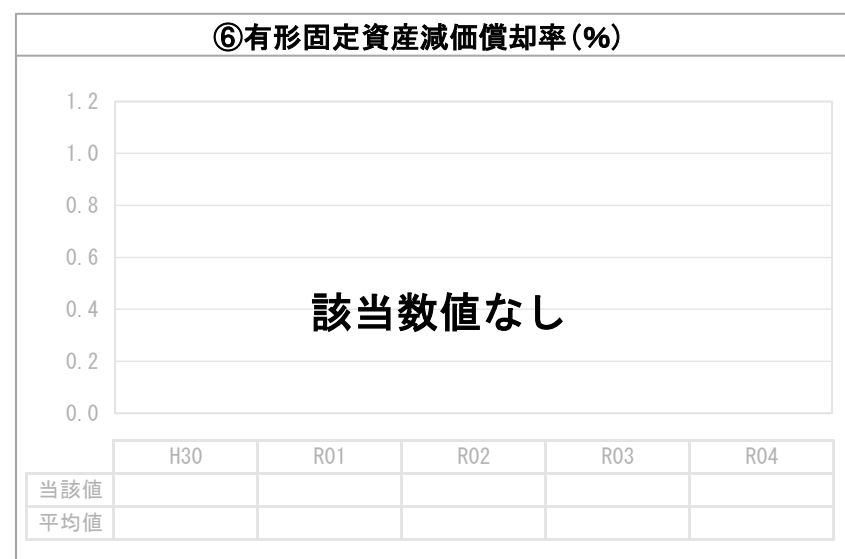
1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

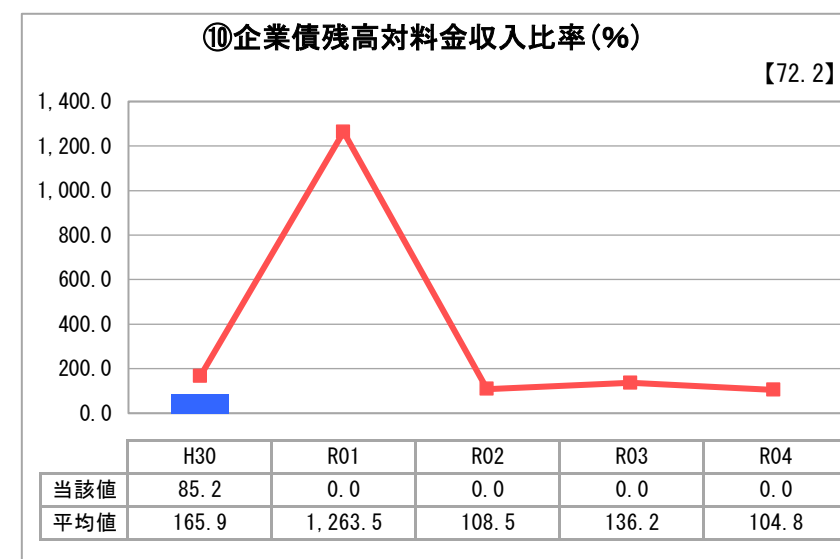
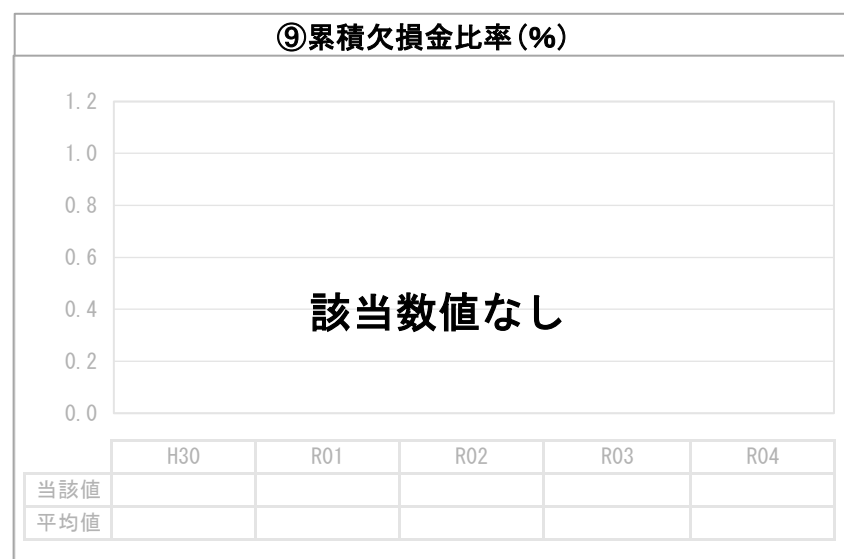


⑦敷地の地価(千円)

0

⑧設備投資見込額(千円)

0



分析欄

1. 収益等の状況について
 駐車場の料金収入等で支出をどの程度賅えているかを示す収益的収支比率(%)は100%未満で赤字となっています。
 本駐車場の建設費償還は平成31年度に完了したため、他会計補助金比率及び駐車台数一台当たりの他会計補助金額はゼロとなりました。
 売上高GOP比率及びEBITDAは平均よりも低く、経営改善に向けた取組みが必要であることを示しています。

2. 資産等の状況について
 駐車場建設費の償還は完了しています。住宅・商業施設との複合施設であり、大規模修繕は管理組合が実施するため、管理組合費の負担額のほか、今後は令和5年11月に策定した駐車場ビジョンに基づき駐車場が単独で所有しているエレベーターの更新費等を見込む必要があります。

3. 利用の状況について
 令和元年度の稼働率の減少は、隣接商業施設の駐車料サービスの変更によるものと考えております。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症流行の影響により、外出を取りやめる、買物等を短時間で済ませる、テレワークに変わるなど、利用状況に変化があったため稼働率が減少しましたが、令和3年度は若干回復し、令和4年度は若干下がったものの同程度の水準を保っています。
 平均値よりも稼働率が高く、今後も一定の需要が見込まれます。

全体総括
 本駐車場は、平成12年2月から供用を開始した、橋本駅周辺駐車場整備地区内に2つある都市計画駐車場のうちの1つです。
 一定数の利用があり、今後橋本駅南口において土地区画整理事業が実施されることを踏まえ、今後も都市計画駐車場として存続させる必要があると考えています。